



平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社インタースペース 上場取引所 東
 コード番号 2122 URL <http://www.interspace.ne.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 伸一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理管掌 (氏名) 岩淵 桂太 TEL 03(5339)8680
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	6,641	4.7	194	3.7	202	△0.6	107	△24.0
29年9月期第1四半期	6,345	18.0	187	1.7	203	7.3	141	14.1

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 104百万円 (△32.7%) 29年9月期第1四半期 155百万円 (25.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	15.88	—
29年9月期第1四半期	20.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第1四半期	7,933	4,238	53.4	624.82
29年9月期	8,856	4,229	47.7	623.42

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 4,238百万円 29年9月期 4,228百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	14.00	14.00
30年9月期	—	—	—	—	—
30年9月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	7.9	500	6.5	500	7.4	345	23.7	50.86
通期	30,000	8.1	1,150	7.1	1,150	△10.9	695	△13.6	102.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期1Q	6,967,200株	29年9月期	6,967,200株
② 期末自己株式数	30年9月期1Q	184,193株	29年9月期	184,193株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期1Q	6,783,007株	29年9月期1Q	6,783,030株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来予想に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続き、有効求人倍率が高水準で推移するなど、緩やかな改善傾向にある一方で、海外経済においては、米国新政権による政策状況や中国、欧州経済の不安定さから先行き不透明な状況が続き、国内景気の上昇を阻害することが懸念されます。

当社グループが属するインターネット広告市場は、引き続き安定的な成長が見込まれ、普及が進むスマートフォンをはじめとしたデバイスの多様化により、スマートフォン向け動画広告の拡大や新たな広告手法の活用が期待されています。

こうした事業環境のもと、当社グループは主力事業であるアフィリエイトサービスを中心に「コンテンツ、メディアの拡充」「グローバル展開の推進」「人材の確保と育成」を重点項目として掲げ、事業拡大に取り組んでいます。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,641百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益は194百万円（前年同四半期比3.7%増）、経常利益は202百万円（前年同四半期比0.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は107百万円（前年同四半期比24.0%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<インターネット広告事業>

当事業は、インターネットを活用した成果報酬型広告であるアフィリエイトサービスを軸に事業を展開しております。主力のアフィリエイトサービス「アクセストレード」においては、昨年度大きく伸長したECカテゴリにおいて「コスメ、サプリメント」などの単品通販商品が好調に推移したものの、広告出稿の予算減少などの影響で前四半期を下回る推移であった一方で、金融カテゴリのFX関連が為替変動の需要により増加したほか、市場で盛り上がりを見せる仮想通貨関連の新しいジャンルへの取り組みを強化いたしました。店舗向けアフィリエイトサービス「ストアフロントアフィリエイト」においては、携帯販売店の稼働率の継続、新規ジャンルのサービス開発や店舗開拓に注力いたしました。新規事業のネイティブアドネットワーク「X-lift」においては、配信ボリュームの高いメディアの開拓および連携に注力し、事業の拡大に努めました。

また、海外事業においては、連結子会社であるインドネシア、タイの両国において昨年度から取り組みを開始したLINEポイントとの広告連携により、広告取扱高を大きく伸長させ更なる拡大が期待されます。

これらの結果、当事業の売上高は6,444百万円（前年同四半期比4.0%増）、セグメント利益は159百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

<メディア運営事業>

当事業は、日本最大級のママ向けコミュニティサイト「ママスタジアム」を軸に事業を展開し、スマートフォン向けアプリの企画開発、提供も行っております。主力の「ママスタジアム」において、ママに人気のレシピ動画や芸能人コラムなど人気の高いコンテンツの拡充に注力しママ向け情報メディアとしての認知向上に向け注力いたしました。その結果、月間ユニークユーザー数は増加し、タイアップ広告の受注拡大など順調に収益拡大しております。また、ネイティブアプリなどを提供するコンテンツ事業においては、海外向けに配信している女性向け恋愛カジュアルアプリが引き続きダウンロード数を伸ばし好調に推移いたしました。

当期においては、既存メディアの拡充による収益拡大、新たなコンテンツ拡充に向けた投資を積極的に行い、全社の利益率向上に向けた施策を推進してまいります。

これらの結果、当事業の売上高は197百万円（前年同四半期比29.5%増）、セグメント利益は35百万円（前年同四半期比29.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,839百万円となり、前連結会計年度末に比べ910百万円減少いたしました。これは主に売掛金が603百万円、現金及び預金が284百万円減少したことによるものであります。売掛金の減少は、ECカテゴリの「コスメ、サプリメント」案件において、広告出稿予算減少の影響により前第4四半期連結会計期間に比べ当第1四半期連結会計期間の売上高が減少したことによるものであります。固定資産は1,093百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主にソフトウェア投資により無形固定資産のうちその他が5百万円増加した一方、投資有価証券の減損処理等の影響により投資その他の資産のうちその他が19百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は7,933百万円となり、前連結会計年度末に比べ923百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,624百万円となり、前連結会計年度末に比べ928百万円減少いたしました。これは主に買掛金が592百万円、法人税等の納付により未払法人税等が260百万円減少したことによるものであります。買掛金の減少は、前第4四半期連結会計期間に比べ当第1四半期連結会計期間の売上高の減少に伴い、売上原価も減少したことによるものであります。固定負債は69百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は3,694百万円となり、前連結会計年度末に比べ933百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,238百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益107百万円及び剰余金の配当94百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は53.4%（前連結会計年度末は47.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月14日の「平成29年9月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,174,088	3,890,030
売掛金	3,259,500	2,655,868
その他	317,993	294,806
貸倒引当金	△957	△771
流動資産合計	7,750,626	6,839,933
固定資産		
有形固定資産	218,804	219,953
無形固定資産		
その他	320,401	326,073
無形固定資産合計	320,401	326,073
投資その他の資産		
その他	592,228	572,552
貸倒引当金	△25,359	△25,292
投資その他の資産合計	566,869	547,260
固定資産合計	1,106,075	1,093,287
資産合計	8,856,701	7,933,220
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,697,414	3,105,301
未払法人税等	310,551	49,855
賞与引当金	126,312	64,470
その他	418,562	404,953
流動負債合計	4,552,840	3,624,580
固定負債		
その他	74,454	69,698
固定負債合計	74,454	69,698
負債合計	4,627,295	3,694,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	984,653	984,653
資本剰余金	725,000	725,000
利益剰余金	2,591,210	2,603,989
自己株式	△100,155	△100,155
株主資本合計	4,200,709	4,213,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,034	24,032
為替換算調整勘定	2,903	664
その他の包括利益累計額合計	27,937	24,697
新株予約権	760	756
純資産合計	4,229,406	4,238,941
負債純資産合計	8,856,701	7,933,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	6,345,348	6,641,954
売上原価	5,284,573	5,564,066
売上総利益	1,060,775	1,077,888
販売費及び一般管理費	872,892	883,057
営業利益	187,882	194,830
営業外収益		
持分法による投資利益	5,294	487
為替差益	11,285	3,102
助成金収入	1,160	2,354
その他	131	1,708
営業外収益合計	17,871	7,652
営業外費用		
投資事業組合運用損	2,131	-
外国源泉税	129	158
その他	14	14
営業外費用合計	2,275	173
経常利益	203,479	202,309
特別損失		
投資有価証券評価損	-	26,143
特別損失合計	-	26,143
税金等調整前四半期純利益	203,479	176,166
法人税、住民税及び事業税	26,831	40,938
法人税等調整額	34,915	27,487
法人税等合計	61,746	68,425
四半期純利益	141,732	107,741
親会社株主に帰属する四半期純利益	141,732	107,741

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	141,732	107,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,277	△1,001
為替換算調整勘定	△331	△2,250
持分法適用会社に対する持分相当額	694	12
その他の包括利益合計	13,640	△3,240
四半期包括利益	155,373	104,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155,373	104,500

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年10月1日至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	インターネット 広告	メディア運営	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,193,169	152,179	6,345,348	—	6,345,348
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,193,169	152,179	6,345,348	—	6,345,348
セグメント利益	160,778	27,104	187,882	—	187,882

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年10月1日至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	インターネット 広告	メディア運営	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,444,876	197,078	6,641,954	—	6,641,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,444,876	197,078	6,641,954	—	6,641,954
セグメント利益	159,723	35,106	194,830	—	194,830

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。